月刊 お正月 第十一号

月刊 お正月

日の当たらない場所に、
初日の出を。

第11号
2020.11.1

特集 継ぐ者

山梨県甲州市田野十二神楽

裏面 2021年の正月日本一は 正月飾りが主役!? 正月の殿堂 2021

田野十二神楽を継承する河野くん

特集 伝統行事田野十二神楽を継ぐ者河野家

少子高齢化の叫ばれる現代日本。少子化により顕在化している問題の一つが、「伝統行事の後継者不足」である。日本正月協会の一つのミッションとして、この伝統文化の後継問題を解決することが挙げられる。後継者が見つからなければ多くの伝統文化は消滅に向かっていくこととなる。その存続に向けた取組は、日本正月協会としても大きな課題としている。

そうした中、二〇二〇年のお正月に、ひときわ輝いていた存在があった。山梨県甲州市の伝統行事「田野十二神楽」を受け継ぐ「河野家」である。今回の月刊お正月では、田野十二神楽と河野家にスポットライトを当てて、紹介していきたい。

田野十二神楽とは？

山梨県のホームページでは、田野十二神楽について、以下のように紹介されている。

『甲州市大和田野地区の小正月行事として受け継がれきた県指定無形民俗文化財「田野十二神楽」は、江戸時代前半期後半ころから伝承されています。

貴重な民俗芸能で十二神楽の呼び名は、神楽の舞が十二段にわたって構成されているところから名付けられたものです。

特徴は、一連の神楽を演ずる前、あるいは中間などに「湯立て」という神事が行なわれることと、舞の中に獅子舞とか天狗の舞いが登場することです。

また、道化を演ずる演目の中に二人の演者がばくちや相撲のしぐさなど、庶民性の強い内容があり、ほかの太々神楽では見られないものがあります。』

日本正月協会の調査では、この行事では、どんど焼きや獅子舞、そして神楽にいたるまで、様々な小正月行事がワンセットになっており、非常に魅力的な行事であった。中でも夜間に屋外でおこなわれる獅子舞はなかなかに珍しいものであった。

二〇二〇年は雪吹きすさぶ厳しい環境での開催であったものの、どんど焼きの燃える脇で獅子舞はおこなわれ、寒さは特に気にならなかった。むしろ、どんど焼きの火に照らされて見る獅子舞が、電気照明に慣れてしまった現代社会生活からすれば、独特な非日常空間であり、目が奪われてしまった。正月らしさを存分に味わえた。

後継者候補にエール

肝心の神楽は、どんど焼きの会場からは少し離れた公民館の中でおこなわれる。公民館の中では、神楽を受け継ぐ河野一家を始め、地域の方々が所狭しと作業に追われていた。

演者の中に小柄な男性がいた。田野十二神楽を継ぐ者、河野家のご子息である。話を聞く中、伝統行事に関心のある若者に、「地域の伝統的な文化を受け継いでいくといいことがあると思うので、ぜひ参加して」と、エールを送っていたのが印象的だった。始めはご両親の要望からしぶしぶ参加したとの話であったが、今では、様式だけではなく、その伝統に流れる心意気までもしっかり受け継いでいると感じられた。

聞くところによれば、河野家では、祖父母、両親、そしてそのご子息へと、一家代々この行事を受け継いでいるそうである。人目に触れにくい山村地域で、子々孫々と伝統を受け継ぐその様は、今まさに失われつつある日本の伝統に警鐘を鳴らしているようでもある。

正月の殿堂二〇二一

「正月の殿堂」とは、当協会主催の、お正月の一番を決めるコンテストです。本年は、二〇二一年に向けた新たな取組として、エージェント募集をおこないました。

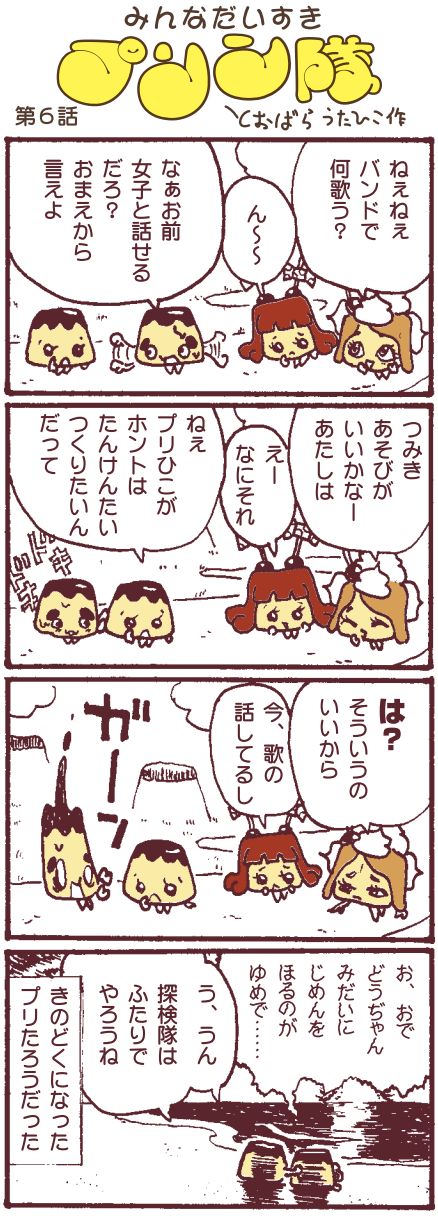
エージェント制度では、新型コロナウィルス感染拡大の影響により、本年から大きく注目され始めた、無料のリモートツール「ZOOM」を使い、全国各地の方々と連絡を取り合いながら、正月の殿堂プロジェクトの達成のための協力関係を結ぶ制度です。

協会に専属することを必要とはせず、また、マスク着用や匿名での参加を許容しているため、他の組織に所属し、就学・就業しながら、仕事の合間を縫って趣味の一環としてご参加いただくことができます。また、場所を選ばずにご参加いただくことができるため、旅行好きの方が、旅仲間とのつながりを求めてご参加いただくこともできます。そのほか、エージェントとしてご参加いただいた方には、ボランティア活動証明書を発行しますので、就職活動を有利に進めたい大学生にもおすすめの企画となっております。

募集開始は十月中旬からおこないましたが、告知とともに募集を開始し、締切日が十月末日と、応募までの期間も限られていたため、本記事執筆時点までに応募者はありませんでした。そのため、募集方法を改めての追加募集も検討しております。

◆都道府県ごとの関心度

SNS上でエージェント募集の告知をしたところ、都道府県ごとのプロジェクトへの関心度が浮き彫りとなってきました。科学的なデータとして公表するには不十分な数値ではありますが、九州・沖縄地方の関心度は高く、特に長崎県からの注目度が高いように感じられます。そのほか、高知、千葉などからの関心の高さが感じられました。


みんなだいすき
プリンプ隊
第6話
とおばらうたいこ作

縁起のいい商品充実。
お正月までにはチェックしたいラインナップ。
日本正月協会®販売部
ISA Japan Shogatsu Association
日本正月協会販売部
https://www.oshogatsu.org/shop/